

梨型沈澱計

Sedimentation tube

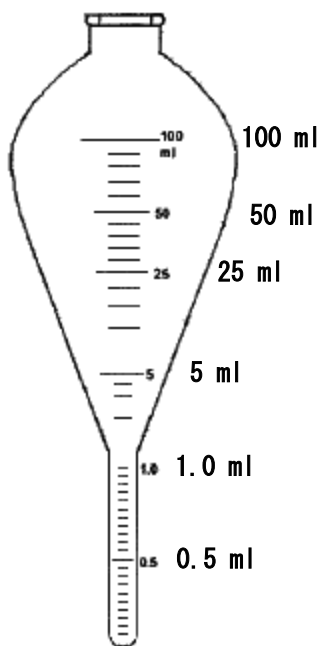
型式: **MST-1**

JIS-Z2320 標準試験片確認方法において、通常、磁粉の濃度は非蛍光湿式法では2~10g/L、蛍光湿式法では0.2~2g/Lの範囲と規定され、磁粉探傷試験では検査液の磁粉濃度はしっかり管理する必要があります。

JISにおいて検査液中の磁粉濃度は検査液の単位体積(100mL)中に含まれる、磁粉の沈澱体積で表す方式があり、使用中の検査液を沈澱計に入れて30分間静置した後に、磁粉の沈澱量の目盛りを直読することにより、磁粉濃度を測定することが出来ます。

一般的に、100mL中に含まれる磁粉の体積は、蛍光磁粉では0.09~0.2cc、非蛍光湿式法では1.7~2.4cc程度になります。

梨型沈澱計形状及び目盛り



※ 本製品は、関係諸機関とのトレーサビリティがとれており、証明書の発行も可能な製品です。
(発行料別途)

※ 単品(管のみ、台のみ)の販売もしております



日本電磁測器株式会社
NIHON DENJI SOKKI CO., LTD.